

形式：オンラインセミナー（Live 配信）

補足： Live 配信に加え【見逃し配信】も実施します。当日の受講が難しい場合は見逃し配信をご視聴ください（配信期間は 10 日間程度）

ジャンル：知財

講習会コード： t d s 2 0 2 4 0 4 1 7 z 1

自社技術を棚卸し、特許情報と組み合わせ、新たなテーマ/商品/用途のアイデア創出に活かす仕組みについて、R & D 組織で体系的に進めるための考え方や実践的なフレームワーク、技術者に必要なスキルを、事例を交えて解説します。

技術者・研究者のための 特許情報・技術情報の見える化・構造化を活用した新テーマ創出の進め方

講師：株式会社ケミストリーキューブ エグゼクティブコンサルタント 葉山 英樹氏

1981 年名古屋大学を卒業、日東電工（株）入社。エンジニアとして水処理用膜モジュールの製品開発、企画、市場開発などに取り組む。その後、経営企画、新規事業推進部門、技術企画部門において、ナレッジマネジメント、新規事業・技術の企画立案、特許情報を活用した新規テーマの探索プロセスの教育と社内コンサルティングを推進。2016 年、ワイス特許サービス（株）で特許の活用を進める。2017 年より（株）ケミストリーキューブにて、自社の強み技術を核とした新商品・新用途創出マーケティングの技術開発に取り組んでいる。

● 日程 2024 年 4 月 17 日（水） 10:30 ~ 16:30

● 受講料 36,300 円（税込） ※2/17（土）までにお申込の場合、**29,040 円（2 割引）**となります

<プログラム>

I. 変化する R & D の役割と技術者・研究者に必要な新たなスキル

- ① ものづくり企業が直面する変化と危機感
- ② イノベーションの時代
- ③ R & D のミッションの変化
- ④ 新テーマ創出のための技術者・研究者のスキル

II. 新しいアイデアを生み出すための情報・知識の構造化

- ① 3 つの思考様式
・目的思考・仮説思考・構造化思考
- ② 情報リテラシー
・情報分析・活用でよくある失敗
・仮説立案、仮説の演習問題
・構造化によるアイデア創出のプロセス
・問題と課題の正しい解釈と応用
・思考支援ツール・分析ツールの活用方法
- ③ 構造化手法～新たなアイデアを生み出す
・2 つの構造化モード（i モード・L モード）
・R & D において構造化が有効なシーン
・研究開発・事業化における構造化思考の活用例

III. 研究開発のための特許・技術情報の活用

- ① イノベーションに有効な特許情報とは？
- ② 特許情報活用原則
- ③ R & D のステージ別、目的別の特許情報、文献情報の活かし方
・技術シーズの活用（オープンイノベーション）
・ニーズ・課題の抽出
・研究ステージ～開発ステージ～販売ステージ
- ④ 生成 AI 活用
・基本原則
・特許情報と生成 AI の使い分け

IV. 自社技術の見える化による自社技術の強みの設定・顧客価値創出

- ① 技術の捉え方
・技術を捉える 5 つの次元（5 階層モデル）
・技術棚卸がうまくいかないのはなぜか？
- ② 顧客価値を起点とした技術の構造化～技術の構造化手法 iMap
・顧客価値の考え方
・価値コンセプトの視点
・目的機能の定義

③ iMap 実践ステップ

- ・思考プロセス
- ・コア技術の設定
- ④ 生成 AI を用いた iMap の活用方法
- ⑤ iMap のイノベーションへの活用 価値の革新、技術の展開、技術の進化

V. 技術の構造化による新用途の創出

1. 特許情報を活用した新用途探索
① 探索の基本的考え方
② 探索設計
・ゴール設定
・iMap 作成
・機能の上位概念化
- ③ 用途候補の抽出
・探索用の特許母集合作成
・用途候補の調査
・有力候補選定
- ④ 用途発明
・「課題、困り事」を探索する視点
・進化分析
・特許情報を活用した発明
2. 新用途探索における生成 AI 活用例
・新用途探索の各プロセスにおける生成 AI の活用
・実践における生成 AI の活用ポイント

VI. 特許情報を活用したイノベーション

- ① 連続的イノベーション
・特許情報の構造化による数年先の課題発見（eMap）
・特許情報を用いた課題実現手段創出
- ② 非連続的イノベーション
・非連続イノベーションへの特許情報活用のフレームワーク（cMap）
・事例：農業分野の IoT での事例、ヒント

7. 自社でのプロセスの構築と技術者のスキル習得

- ① 技術者のスキル習得方法
- ② R & D 組織における新たなプロセスの獲得～どのように組織知とするのか？
- ③ 未来の技術者のあるべき姿

<こんな方にお勧めです>

技術者・研究者、研究・開発企画スタッフ、新規事業企画推進部門担当者、新規テーマ創出支援を行う知財部門スタッフの方などで、自社技術の見える化（構造化）し、新テーマを創出したい方や新テーマを生み出すための特許情報の活用の仕方を学びたい方、などに最適です。

<習得知識>

- ・情報の見える化・構造化による新たなアイデア創出方法
- ・自社技術の構造化による強みの抽出と新用途創出プロセス
- ・特許情報を用いた新テーマ（連続・非連続イノベーション）のためのフレームワーク
- ・特許情報をマーケティング & イノベーションに活用するための知識
- ・生成 AI 活用の大原則

<講義概要>

R & D 部門には、未来を見据えた新テーマを創出することが求められています。しかし、「従来の延長線上の性能改善」や「顧客の要望にあわせた製品開発」など現行のテーマ開発を進める技術者・研究者は、技術観点の問題解決スキルは高いですが、新テーマ創出で重要である顧客価値創出に関する知識・スキルは十分とは言えません。

本講座では、技術者・研究者自ら、新テーマを創出するためのフレームワークと実践的な進め方を、次の 4 つの観点から解説します。

- ① 情報の見える化・構造化～特許情報のイノベーション & マーケティングへの活用
- ② 顧客の問題・課題の発見
- ③ 自社技術の強みの特定と強みをもとにした顧客価値創出
- ④ 生成 AI の活用原則

<お申込要項>



下記に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください（※は必須です）

03-6261-7924

申込講座	2024/4/17	技術者・研究者のための特許情報・技術情報の見える化・構造化を活用した新テーマ創出の進め方		
会社名※				
所在地※ (請求書等の送付先)	〒			
参加者①	氏名※		TEL※	
	所属※		FAX	
				役職
	Email※		@	
会員登録	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない (登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します)			
参加者②	氏名※		TEL※	
	所属※		FAX	
				役職
	Email※		@	
会員登録	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない (登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します)			
支払方法※	<input type="checkbox"/> 銀行振込 (紙請求書) <input type="checkbox"/> 銀行振込 (PDF 請求書) <input type="checkbox"/> カード支払い <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する			
支払予定日※	<input type="checkbox"/> [] 月 [] 日ごろを予定している <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する			
備考※				

お申込について

① 以下のいずれかの方法でお申込みください

A	FAX	上記に必要事項をご記入の上、送信ください
B	E-mail	送信先: entry@tech-d.jp メール本文に<①【申込講座】 ②【会社名】 ③【所在地】 ④【氏名】 ⑤【所属】 ⑥【Email】 ⑦【TEL】 ⑧【支払方法】、⑨【支払予定日】>をご記入の上、ご送信ください
C	Web	https://tech-d.jp/ の各講座のページからお申込みください

② お申込受付後、受付完了のご連絡（メールまたはお電話）をいたします

③ 請求書等をお送りいたします

<注意>

① お申込後 1 週間たっても受付完了の連絡がなかった場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください

② 開催日の 7 日前以内のキャンセルはお受け致しかねます。必要に応じ代理の方のご出席をお願いいたします

お支払について

<期日>

受講料は講習会開催日の翌月末日までにお支払いください

※期日までに間に合わない場合は、対応いたしますのでご一報ください

<方法>

① 銀行振込（振込手数料は御社にてご負担願います）

② クレジットカード（支払方法はメールでご案内します）

【お振込先】

振込先銀行	三井住友銀行
支店	多摩センター支店 (909)
口座番号	(普) 0973522
名義	株式会社テックデザイン

主催 申込・問合せ先	名称	株式会社テックデザイン (http://www.tech-d.jp/)		
	住所	〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-9-14 九段南センタービル 5 階		
	電話	03-6261-7920	FAX	03-6261-7924
	E-mail	entry@tech-d.jp (申込) / info@tech-d.jp (問合せ)		